

岡山県青年会会報

発行者 岡山県青年会
編集 公益財団法人備中館

岡山県青年会学生幹事長挨拶
学生幹事長 島村拓巳



岡山県青年会は、岡山県出身の「学生会員」と学生を応援して下さっている「特別会員」から構成され、運営に関しては都内にある県出身者のための4つの寮の学生が中心となり行っています。青年会は、大学の枠や年齢の隔たりを超えた交流を通じて、一人ひとりが成長できる場です。このような環境を与えて頂いた関係者の皆様に、感謝の気持ちを忘れることなく日々邁進しております。

さて、私自身が3年目を迎える学生自治寮の生活を思い起こしてみますと、寮の運営という部分について非常に興味深く思われます。高校時代の寮生活では、指示された内容をただ黙々とこなす日々であり、自発的に何かを変えろといった機会はあまりなかったと記憶しております。

す。しかし、現在の寮では一転し、学生自身が主体となり、自ら管理、運営を行うことが求められます。そうして学生生活は学生自らがより良いものに変えていく、これこそが自治寮の醍醐味だと考えております。

私が思うに、理想的な寮運営には2つの条件が求められます。1つ目は、寮の規範、規律といった外見的な側面です。我が寮では、トイレ、風呂、食堂といった共有の場は全て当番制で掃除を行っております。また、騒音問題などは学生間の対話によりどの程度の自由が尊重されるべきか否か定められます。もし、我々の中に任せられた責任を放棄するような者が現れるのであれば、それは寮としての秩序が乱れ、学生間の相互的な信頼関係も次第に薄らいでいきます。このような事態を避ける為に、上述した規律、規範の遵奉が求められます。

2つ目は内面的な側面です。我々は集団に属しているという帰属意識を持ち、日々の生活を過ごす必要があります。近年、個人のライフスタイルを優先し、自治活動に対して消極的な者が少なからず見られます。これは我が寮だけでなく、時代の潮流として捉えられるのではないのでしょうか。ですが寮生活において、個

人がそれぞれ好き勝手な行動を取ると、共に長い時間を過ごすコミュニティとしての存在意義が消失します。学生は、常に集団生活を意識することが必要なのです。

各人が寮に投機することによって、より良い寮が築きあげられると共に、学生側としても人間的な面が成長し、社会で恥じることはない能力を、自然に身に付けることが出来ると考えております。

私は岡山県青年会学生幹事長として、学生寮という環境で過ごす4年間の魅力、これから東京に上京する学生に伝えてまいります。また、青年会の活動を通じて、学生が切磋琢磨できる環境作りを尽力してゆきます。

新入生と卒業生の状況

平成27年3月には、思い出の詰まった寮から21人の学生が巣立って行きました。一人ひとりが、寮で過ごし学んだことを活かして、更なる成長を遂げることが祈っております。

4月には、新入生が加わり、10月現在、寮で生活している学生は120人となっております。

異なる価値観を持った学生達が相互の理解を深め、様々な困難や喜びを体験することが出来るのも寮ならではの魅力です。多くの友人と交わり、自己研鑽の場として活用されることを期待します。

■平成26年度 卒業生の状況■

	首都圏	岡山県	その他の地域	計
岡山県育英会東京寮	5人	2人	1人	8人
鶴山館	6人	—	—	6人
精義塾	3人	1人	—	4人
備中館	2人	1人	—	3人
合計	16人	4人	1人	21人

■平成27年度 在寮生の状況（平成27年10月1日現在）■

	1年	2年	3年	4年	大学院	計
岡山県育英会東京寮	16人	12人	7人	7人	8人	50人
鶴山館	15人	6人	5人	11人	—	37人
精義塾	4人	7人	3人	4人	—	18人
備中館	3人	5人	2人	2人	3人	15人
合計	38人	30人	17人	24人	11人	120人



平成26年度 岡山県青年会総会

平成26年12月2日(火)の夕刻、9月にオープンした岡山県と鳥取県の共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」(港区新橋)において、各界で御活躍される郷土岡山県出身の諸先輩方にも多数お集まりいただき、岡山県青年会総会を開催しました。

総会は宮原耕治会長(日本郵船(株)会長)の挨拶で始まり、山本誠一朗学生幹事長の挨拶、出席者の紹介、総会議事(事業報告、会計報告など)を行い、全ての議事が承認されました。

引き続き行われた講演会では、「映画を作りながら考えたこと」という題で、アニメーション映画監督の高畑勲氏(備中館OB)から、御講演をいただきました。

「学生時代、備中館以外にも、岡山県育英会東京寮や大学の寮に入っていた。寮での共同生活はプライバシーのない滅茶苦茶なものだったが、そういう経験は全然しないより、したほうがいいと感じている。私の頃は、議論下手でも議論を交わし、意見が違うことに腹を立てて、すぐに喧嘩になっていたが、本音を言い合っただけである。今の人は議論を避ける。仲間内がどうい気分になっているかを読んで行動しようとしている。

それが読めないとダメだと言われ、いい悪いの判断基準になっている。日本人は良くも悪くも同調しやすい。同調してもいいものならいいが、同調してまずいものには、警戒してかからないと流されてしまう。流される前の歯止めが大事である。」との高畑監督の語りかけに対して、学生を代表して、山本学生幹事長が、「若者は空気を読むことばかり考えて議論をしないと行われれば、そうかもしれないと思う一方、自治寮の学生代表として、少なくとも寮という空間においては、そうでないものを守り続けているつもりである。寮の在りし日の姿を話してもらい、改めて、自治寮とは何かを、寮のみんなと議論したい。」と力強く答えるとともにお礼を述べました。

総会・講演会後の懇親会では、岡崎助一副会長(公財)日本体育協会専務理事)の挨拶の後、橋本徹顧問(株)日本政策投資銀行代表取締役社長)の発声で乾杯を行い、地元岡山の食材を使った料理を楽しみながら、先輩方や同輩達と歓談の輪を広げ、親睦や交流を深めました。最後に鳥越興理事(公財)備中館理事)による中締めをもって、盛況のうちに総会は終了しました。



アニメーション映画監督 高畑 勲氏による講演会



宮原 会長 挨拶



懇親会の様子



総会の様子

近況報告 岡山県育英会東京寮

私は毎年、素晴らしい感動と達成感を
感じている。

入寮して、はや3年。今年は、多くの
1年生が入寮し、3年生の私も相部屋に
なった。5月に行われた寮のイベントで、
1年生から同室を希望され、ふと自分が
1年生の頃のことを思い出した。

さて、自分の1年生の時の思い出話は
ともかく、本題に移ろう。上記した「寮
のイベント」とは、東京寮の大きな行
事、『山手線一周ハイク』である。これ
は、通称『山手線』と呼ばれるイベン
トだ。各駅に設定された賞金や賞品を、1
年生同士で各駅区間を競争して走るとい
うものである。上級生は、1年生と競争
したり、先導や並走をしたり、1年生の
サポートなど様々なことをして盛り上げ
る。このイベントでは、寮全体が仲良く
なる。私が1年生の時、最初はみんな敵
同士だと思っていたのだが、それは徐々
に変わっていく。サポートしてくれる先
輩方、ゴールした時に拍手で迎えてくれ
る同級生、深夜から長距離を走り続ける
という辛さを共有する同じ屋根の下で暮
らす仲間達みんなまで走り切った時の感動
は、私にとって最大級の感動だった。私
は今年で3回目の山手線だったが、毎年

違う楽しさと大変さを感じてきた。でも、
学年を問わずに寮全体が仲良くなれると
いうことは、毎年共通して感じた。月並
みな言い方となるが、山手線は経験した
者にしか味わえない感動と達成感があ
る。

私は毎年、素晴らしい感動と達成感を
感じている。

3年生 福田博之



近況報告 鶴山館

鶴山館では様々な活動が行われていま
す。今回は鶴山館独自の自主活動「サーク
ル運営」について紹介させていただきます。
私は当初、サークルの活動内容も教養を
深めるべく、アカデミックなものが適当で
はないかと考えました。確かに、「理想的
な学生寮の姿」として、学生達がアカデミ
ックな論議について熱く議論を交わす様
子は、容易に想像されます。実際、鶴山館
ではそういった議論が行われ、私も、興
味のある議論には参加させていただいて
います。しきな声が聞こえてきます。
かしながら、「大学等で内容の充実した学
習を行い、帰寮した後は精神衛生を保つ
ため、アカデミックなものから離れて過
したい」と捉える私のような学生が現在
の鶴山館に一定数、存在するのも事実で
すが、したがって、サークル活動の趣旨
が「交流を促進させること」である以上
、サークル構成員のモチベーションを保
つため、「遊び」をサークルの活動内容の
主眼とするのではなく、誤解していただ
きたくないのですが、私は教養の獲得を
諦めたものではないです。私には教養の
獲得の端緒が「遊び」にも純なるものと
ありません。「遊び」にも純なるものが
存在するからです。「遊び」を端緒とし
て獲得した教養は強い印象を以って、記
憶に刻まれるに違いありません。こうし
た熟慮を経て、私は『カックザンエグゼ』と銘打

つ『カックザンエグゼ』と銘打つ
『プラグイン!カックザンEXE、トランス
ミッション!』
1年生 元宗保説

つ『カックザンエグゼ』と銘打つ
『プラグイン!カックザンEXE、トランス
ミッション!』
1年生 元宗保説



近況報告 精義塾

精義塾の一年で一番ワイワイする行事、そ本日の宿泊場所であるキャンプ場へ到着。これは夏旅行であります。夏旅行といっても普通山、川と自然あふれる場所で川遊びやバー通の旅行ではありません。旅行の道中、塾生ベキュー、花火、宴会とあつという間に1全員が各々個性豊かな仮装をし、都内を学注日が過ぎて行きました。2日目、二日酔いという自己紹介をしながら練り歩く仮装旅行をもろともせず一行は秩父を堪能。フォレストアドベンチャーというアスレチック施設

今年夏旅行は7月11、12日の一泊二設では、塾員全員、童心に帰って、楽しく日秩父を目指しました。朝7時半、続々汗を流しました。

と仮装に身を包んだ塾員が食堂に集合。マイメロディやベイマックス、生肉などなむ行事がたくさんあります。そのひとつひとつを通し、個として成長し、また塾員同士の絆も確固たるものになるのです。

2年生 川畑拓也

は池袋へと向かいました。池袋は人が多く塾員のテンションも最高潮となり、続々と人が集まる中、学注をしました。写真を撮る人、何の集団だ？と尋ねてくる外国人観光客、白い目で僕たちを見つめる警備員と、周囲の反応は様々ですが、いつも普通に何気なく歩いている街を仮装して歩くというのはとても新鮮で楽しく、気持ちがいものです。池袋で脚光を浴びた後、目的地である秩父へと向かう車中では、塾員のほとんどが疲れて眠っていました。そして



近況報告 備中館

はじめまして。私、備中館に在籍しております2年生の藤原隆寛と申します。今年も私も備中館の新入寮生の面接をお手伝いさせていただきましたが、例年以上に多くの方に備中館を志願していただき、とても喜ばしく思っております。面接を経て、今年の1年生達も次第に寮生活に馴染み、寮に活気を与えてくれます。

備中館は学生による自治寮ですので、寮生が協力して分担された仕事をこなします。寮の仕事を通して、私達はたくさんのお話を日々学び続けております。また、寮の仕事を円滑に行うためには、寮生同士のコミュニケーションが重要です。そのため、備中館では寮生同士の交流を深めるため、花見や秋旅行などの様々な行事が行われています。

備中館に住む寮生の共通点は、東京の大学に在学中で岡山にゆかりがあるということだけです。寮生には、例えばスポーツに一生懸命に取り組んでいる方もいれば、大学での研究に毎日勤しんでいる方もいます。また、趣味や性格なども多様です。私は備中館でこうしたいいろいろな

方々と交流を持ち、いろいろなお話を聞かせていただいて、日々刺激を受けております。高校や大学の友人と話すだけでは得られない貴重な経験をさせていただいている備中館に私はとても感謝しております、入寮して良かったと思っております。

2年生 藤原隆寛



育英会東京寮の先輩から

東京寮の皆さん、お久しぶりです。西岡です。さて、僕も社会人になって、4ヶ月が経とうとしています。就職した塾での仕事は新しいことだらけで、本当に毎日、バタバタしながら過ごしています。

まだ、たったの4ヶ月ではありませんが、仕事を通して学べたことが一つあります。それは、とにかく与えられたことを完璧にやりきることが大事だということです。実際、何かを完璧にやりきるというのは、とても難しいことです。なぜなら、大抵の人は「まあ、いいや」と物事に対して考えてしまうからです。

小さなことから挙げると、例えば、プリントの枚数を数える仕事をするときです。すると、その仕事に慣れると、「大体の枚数でいいや」と大抵の人は考えます。掃除の仕事でも、「目立つとこだけやればいいか」とか、「今日はしなくてよばれないだろう」とか大抵の人は考えます。本当に小さなことだと思えます。でも、きつとそれが積み重なったら、いつか「こいつの成績が上がらなくても、まあ、いいや」って考えるようになってしまふんじゃないかと思えます。

本当に多くの「まあ、いいや」と闘うのが仕事なんじゃないかと僕は考えま

す。皆さんもどうか、「まあ、いいや」に負けぬよう、日々の生活を送って下さい。それでは、また。

西岡瞬（平成26年度卒寮）

鶴山館の先輩から

皆様こんにちは。この3月に鶴山館を卒業しました、安達と申します。現在は、とある金融機関の投資銀行部門でカバレッジバンカーとして働いております。まず、投資銀行とは、金融市場や業界、個別企業に精通したバンカーが、顧客である事業会社に対してM&AやIPO、資金調達など企業価値向上に資するソリューションを提供する部門です。その中でもカバレッジは会社の顔として、顧客企業のニーズを汲み取り、最適なソリューションを提案して案件を獲得する部門です。案件を獲得しますと、今度はプロダクトと呼ばれるM&Aやファイナンスなどに精通したバンカーと協力して案件を実行していきます。幅広い経済、金融、業界知識が求められる仕事であります。未熟ながらも諸先輩方の指導の下、一人前のバンカーとして活躍できるように日々精進しております。

社会人となってまだ4か月ですが、先輩社員を見ても、私が寮生時代に体験し

たような濃い人間関係を送るという機会には少なくなっていると感じます。青年会でもそれぞれの寮でも数多くの人々と関わり合うと思いますが、そこでの人との繋がりというものを大切にしてみてください。対立することも煩わしさを感じることもありますが、ここまで人と深く付き合うということは今しか経験することが出来ないと思います。そしてその経験と、そこで得た繋がりは一生ものです。後悔することが無いように、今しかできない生活を満喫してみてください。きつと実りある青春時代になると思います。

安達大輔（平成26年度卒寮）

精義塾の先輩から

精義塾に入ってよく「面白い人になれ」って言われた気がした。面白い人ではないと相手にされないように感じた。だから面白い人ってなんだろうとこの4年間よく考えた。

『でええおもしろえ、とは』

其の一 少しでもいいから自分のできないことをやってみる

先輩には情熱があった。将来は○○○になりたいから今こういう勉強をする。○○○な日本に変えたいからこういう仕事

を頑張る。純粋にスポーツや得意分野に打ち込む先輩もいた。

自分には大学に入って以降打ち込むところが何もなかった。サークルにもあまり参加することもなかった。これではつまらない人になってしまったと思った。女の子にも何かに打ち込んでいない人はかっこよくないとも言われ、やはり何かに打ち込むことは大切だと思った。しかし、特にやりたいことは見つからなかった。このままではまずいと思い大学3年のとき研究を頑張る、ハーバード大学で研究発表をした。充実感はそれなりにあった。研究について詳しくなれた。そして将来やりたいことも見えた。やはり何かを極めることはおもしろいことにつながると確信した。

『でええおもしろえ、とは』

其の二 何かについて打ち込んで極めること

先輩はいつも精義塾にいた。時々心配になった。先輩はいつも一緒に遊んでくれた。そのおかげで他のコミュニケーションにはあまり顔を出すことはなかった。何かに打ち込むこともほとんどなかった。しかし、一見無駄に見えるような時間かもしれないが、それはものすごく貴重なものであった。その時その時の会話には光るものがあった。先輩は人に興味を持

つこと、時間を共有することの大切さを教えてくれた。だからこそ自分も先輩と一緒にいるとき、先輩が何を考えて接してくれているのか、自分に何を求めているのか考えて過ごした。これこそが一番面白いにつながると思った。精義塾員は面白い人になるという一つの同じ目標をもって生活していると感じている。

矢田貝諒（平成26年度卒塾）

備中館の先輩から

私は備中館に学部、大学院合わせて五年間在籍させて頂きました。今回は、本来は四年で卒寮のところを一年間多く在籍させて頂けた感謝も込めてこの文を書かせて頂くと思います。

私は現在、備中館での同期と同じ屋根の下暮らしています。元々、寮で5年間同じ釜の飯を食ってきた仲ですので、気心が知れている仲間がいる分、スムーズに寮外での生活もおくれていると感じています。とはいっても、この生活に妙なものはひよこつと備中館に顔を出しては寮生とともに酒を飲み、満足して帰っていきます。このように一応は寮外部の人間として寮生と接していると今までは見えてこなかったことが見えてきた気が

します。

卒寮して一番自身が感じたことは、寮生によって寮の雰囲気ガラリと変わるということだと思います。私は寮に在籍していた当時、OBの方から備中館での武勇伝のような話をよく聞いていました。正直、当時は同じ年代の若者がすることなんか一つの時代もほぼ変わらないうんじやないかと、高を括って聞いていた節がありました。しかし、いざ自分が外部の人間になると、それは良い意味でも悪い意味でもありますが、確実に時代の沿って寮も変化していくのだなとひしひしと感じます。一般的に時代は余計なものこそぎ落としより効率的な方向に進もうとしますが、この寮だけはスマートフォンにならず、いつまでも泥臭くいてほしいなと思わずにはいられません。寮の伝統とかそういう大層なものではないですが、古ぼけていくけどなんとなくいると安心感がある佇まいは持つていてほしいなと思います。恐らくOBの方々もそういう一種の懐古主義的な思いはどこかにあると思います。私もその気持ちがわかってきたあたり、少し年をとったのかなと思っっている今日この頃です。

四谷晋太郎（平成26年度卒館）

事務局からのお知らせ

■新規会員の募集

岡山県青年会の通常会員は、岡山県出身の学生です。男女は問いません。育英会東京寮、鶴山館、精義塾、備中館に入寮している学生以外の方も、岡山県青年会に入会いただけますので、学校や知人等で入会を希望される学生がおられましたら、事務局までご連絡ください。入会金は不要で、学生の方（通常会員）の年会費は無料です。

■特別会員の方へ維持会費（年会費）納入のお願い

学生寮を巣立っていかれた先輩方や、岡山県出身の学生を応援くださっている方に、特別会員になっていただき、岡山県青年会の運営のご支援をいただいています。特別会員の皆様には、青年会の維持会費（年会費）として一口5千円のご支援を今年もよろしくお願いいたします。

事務局連絡先

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10階
岡山県東京事務所内
岡山県青年会事務局
TEL:03-5212-9080
FAX:03-5212-9083
メール:seinenkai@pref.okayama.jp

岡山県	育英会東京寮	〒108-0074 東京都港区高輪3-14-21 TEL:03-3441-3195 【HP】 http://www.okayama-ikueikai.jimusho.jp/ryo01.htm	鶴山館
	精義塾	〒112-0006 東京都文京区小日向1-21-13 TEL:03-3947-6565 【HP】 http://www.seigijuku.org/	
		〒202-0013 東京都西東京市中町5-10-8 TEL:0424-22-5951 【HP】 http://park19.wakwak.com/~kakuzan/	備中館
		〒112-0001 東京都文京区白山4-8-4 TEL:03-3947-1549 【HP】 http://備中館.jp/	

学生寮の問い合わせ先